

学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト

# 岡山大学「体験せにやあ大変じや」

～体験型防災施設における  
効果的な防災教育の推進プロジェクト～

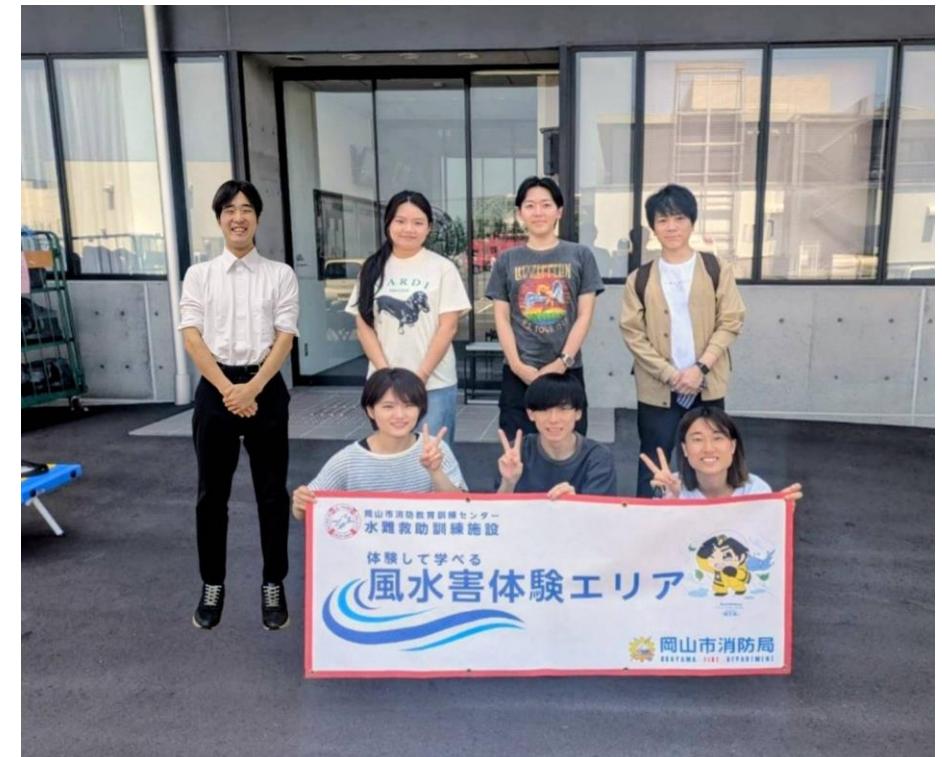
# 最終報告

メンバー： 太田 麗 木崎 達也 中村 結菜  
難波 弥凪 刘 清伊 藤本 健瑠

令和8年 2月 14日（土）

## 岡山市消防教育訓練センター

### 水難救助訓練施設 風水害体験エリア



# 対象施設における「風水害体験」の流れ

03



ビデオ視聴によるミニ講義



水圧自動車ドア体験



水圧ドア体験



風雨体験

マイ・タイムライン作成  
ふりかえり



体験時間 | 時間 30分

※体験パートの順番はグループによって異なる



危険性を感覚的に理解できるが、  
体験のリアリティ（災害状況との近さ）が不足している？

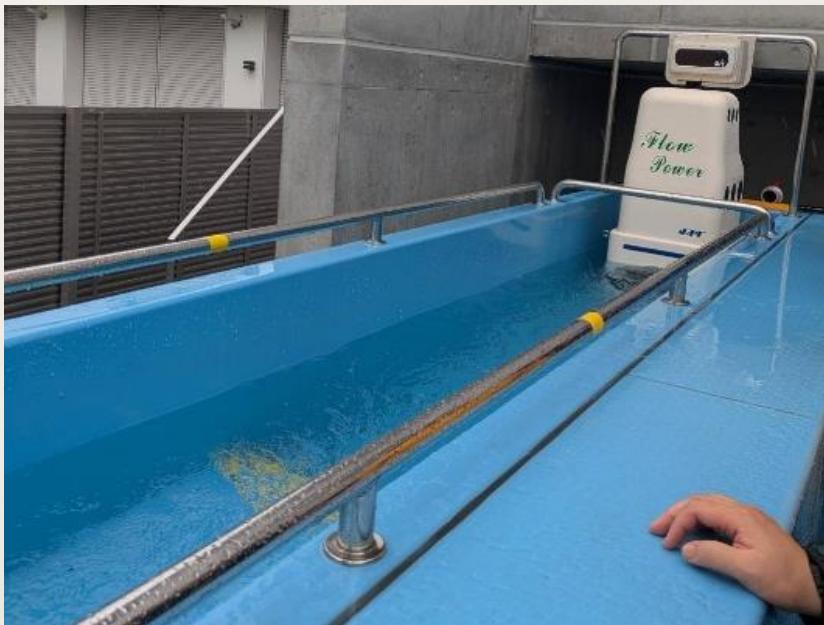
手すりを持って  
流れのある  
透明な水の中を歩く

ギャップ

実際は濁った水で  
漂流物等が存在する

体験を  
「楽しかった」  
「歩けた」  
で終わらせず……

体験と災害状況との差を  
補完する必要がある！



マイ・タイムラインを書くときに  
自分の置かれている状況が  
想像しにくい…

## 本当に避難が必要？

## 誰と一緒にいる？

## 避難場所はどこ？



# 災害リスクへの関心 イメージするための要素



大型パネル

小型パネル

流水歩行体験と平成30年7月豪雨のときをくらべてみよう!

～東区・平島地区一帯～

道路の状況



住宅街の状況



コンビニエンスストアの浸水状況



しづいじょうきょう  
コンビニエンスストアの浸水状況

用水路

～見えないケン～  
にごった水で用水路が  
見えなくなることがある  
もし、足を踏み入れたら…



～色の違い～  
水がにごっていて  
足元がよく見えない…

～流れているモノの違い～  
木片やごみが流れている  
当たってけがをするかも…

～身の回りの違い～  
つかまるところは  
どこにもない

# マイ・タイムライン 手順書

# マイ・タイムライン をつくろう！

## ① 防災チェックシートで、大雨・洪水時に どんな状況になりそうかを確認する

おおあめ こうすい そうてい  
いつ、どこで大雨・洪水にさらされるかを想定し、  
ハザードマップやGoogleEarthなどを見ながら  
どのように避難したら良いのか具体的に考える。

## ② 防災クイズで防災に関する知識を確認

こたえ ほうさい かん きほんてき き  
クイズに答えて防災に関する基本的なことに気づき、  
避難に生かすことができるようとする。

## ③ マイ・タイムラインを作成する

じぶん くわん かた ちいさ どくちょう ま  
自分の暮らし方や地域の特徴に合わせた  
「自分自身のタイムライン」を作り、  
時系列で整理しておく。

## ④ 作成したマイ・タイムラインを共有する

ひと きんじょ ひと きょうゆう ひなん そうてい  
おうちの人や近所の人と共有して避難の想定をしておく。  
じかんたい だれ いつしょ ひとり  
時間帯や誰と一緒にいるか（もしくは1人）  
いくつかパターンを組んでおくと、なお良し。

岡山大学大学院教育学研究科「体験せにゃあ大変じゃ」

# 防災チェックシート & 防災クイズ

## 従来型



提供 岡山市消防局

# 被災状況の想像力 ○

## 解説パネル



# 被災状況の想像力 ○

# マイ・タイムライン 補助資料



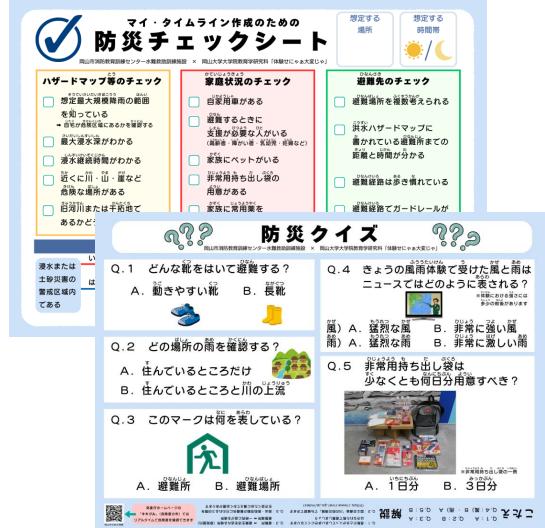
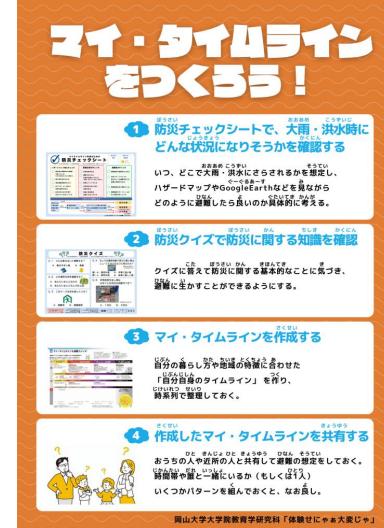
- 災害の危機感 ○
- 被災状況の想像力 ○
- 脅威アピール ○

## 解説パネル



施設で継続利用 ○  
体験中の指導言によっては  
より効果的に！

## マイ・タイムライン補助資料



施設で継続利用  
他施設での利用  
学校の学習ツール



## マイ・タイムライン補助資料

- 説明がしやすくなつた
- 指導員の発言内容のばらつきを減らすことができた
- 補助資料の必要性を感じるきっかけになった  
もっと様々な補助資料を上手く使っていきたい

## 解説パネル

- 参加者にリアリティをより感じてもらえたのではないか
- 災害時の説明もパネルを見てもらうことで細かく言わなくても伝わった
- 「流水歩行体験」以外の体験コーナーでもぜひ作ってほしい
- 施設として体験のリアリティをより高めるきっかけになった





ご清聴ありがとうございました！